

表 水を介して健康被害を引き起こす物質とその特徴

分類	病原体・物質名	特徴と主な症状
細菌	病原大腸菌 (O157、O121、O103、 <i>astA</i> 保有大腸菌 など)	大腸菌のなかで、病原因子を持ち、人に下痢などの症状を引き起こすものは下痢原性大腸菌と呼ばれ、主に5種類に分類される。
	<i>Escherichia albertii</i> (エシェリキア・アルバーティ)	野鳥、家畜、野生動物が保菌。水様性下痢、腹痛、発熱、嘔吐。大腸菌の近縁種。
	カンピロバクター・ジェジュニ	潜伏期間が長く(平均2~3日)、腹痛、下痢、発熱を引き起こす。鶏、豚、牛、野鳥などが保菌。
	赤痢菌	糞口感染。発熱、腹痛、粘血性下痢。
	エルシニア	豚が代表的な保菌動物。発熱、下痢、腹痛などを主症状とする。
	サルモネラ属菌	動物の腸管内や自然界に広く分布。主症状は腹痛、下痢、発熱。
ウイルス	ノロウイルス	ヒトの腸管内でのみ増殖。冬季に多いが通年発生。激しい嘔吐、下痢、腹痛、発熱。
	ロタウイルス	5歳以下の小児下痢症の主要因。下痢、嘔気、嘔吐、腹痛、発熱。
原虫	クリプトスポリジウム	動物のふん便から水へ。通常の塩素消毒に強い耐性を持つ。主症状は下痢。
	ジアルジア	欧米を中心に水系集団発生が報告されている。
化学物質	灯油、軽油	油臭。過去に施設不備などによる飲料水への混入事例あり。
	消毒剤 (次亜塩素酸ナトリウム)	塩素系漂白剤。強アルカリ性で粘膜刺激やのどの痛み、塩素臭などを引き起こす。過去に飲食店などで誤って混入し、客に提供された事例あり。

出典：2026.6 食と健康 「使用水の衛生管理」 古井 真理子 (秋田県横手保健所)